

第6学年 外国語科学習指導案

日 時 :

学校名 :

展開学級 :

授 業 者 :

1 単元名「 Welcome to Japan. 日本のことを紹介しよう。」(Junior Sunshine 6 Lesson 4)

2 単元の目標

- ・食べ物や自然、行事、名所などについて、日本のことを紹介する言い方を理解することができる。

【知識及び技能】

- ・食べ物や自然、行事、名所などについて、自分の考えや気持ちを入れながら、相手に伝わるように日本のことをわかりやすく紹介することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・自分の考えや気持ちを入れながら、ALT や友達に伝わるように日本のことをわかりやすく進んで紹介しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

本単元の目標は学習指導要領外国語第2 英語の目標(4) 話すこと[発表]ウ「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。」を受けて設定した。

5年生では、自分たちが住んでいる地域のよさや、お気に入りの場所や名産品を紹介することで、地域を見つめなおしたり新たな発見をしたりすることができた。また、6年生の Lesson 3 「ツアープランナーになろう。」や Lesson 7 「世界の衣食住を知ろう。」では、各国の特色を知り、世界への視野を広げることができた。本単元では、児童に日本の食べ物や自然、行事、名所などについて興味を持たせたい。世界の文化と比較することで日本文化の良さを再認識させ、自分の言葉で日本文化を紹介させたい。

単元末では日本各地の観光大使として外国の方をオンライン旅行に招待するという設定で、日本文化を紹介する活動を行い、進んで日本文化について伝え合おうとする態度を養いたい。昨今は新型コロナウイルスの影響で外国人観光客もいない状況である。日本にいながら世界へ日本のよさを伝えるには、オンラインを用いた方法はとても有効であり、将来的に実現性も高い。その仮想的な状況をつくりだすため、前時では別教室とオンラインでつなぎ、仮想で海外と日本各地とのやり取りの場面を設定する。また、実際オンラインでの日本文化紹介においては、単に一方的に発表するだけでなく、相手とのやり取りは欠かせない。発表の資料は用意しつつ、相手とのやり取りも少し加えることで、その場面に応じて言語を活用できる場を設定する。

本校の外国語活動研究主題は「コミュニケーション能力の基礎を身に付け、外国語の文化や言語に積極的に触れ、自分の思いを表現しようとする態度の育成」である。ペア活動やグループ活動を取り入れ、既習事項を様々な場面で、目的や状況、相手の反応に応じて繰り返し活用することによって自信をつけ、自分の思いを表現しようとする態度を養えるであろうと考える。

4 児童の実態 割愛

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> ○ 日本各地の名所や自然、行事、食べ物を表す語句や、Welcome to ～. We have ～ in You can ～. It's ～. の表現について理解している。 <技能>日本について Welcome to ～. We have ～ in You can ～. It's ～. の表現を用いて日本各地の名所や自然、行事、食べ物などについて伝え合う技能を身に付けている。	○日本のことを紹介するために、各地の名所や自然、行事、食べ物などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら相手にわかりやすく伝えている。	○各地の名所や自然、行事、食べ物などについて簡単な語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちを入れながら、ALT や友達に伝わるように日本のことをわかりやすく進んで紹介しようとしている。

6 指導と評価の計画（7/8）

時	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○日本の食べ物、自然、行事、名所の言い方を理解する。	目標に向けての指導はするが記録に残す評価はしない。		
2	○日本の食べ物、自然、行事、名所の紹介する英語を聞いたり言ったりする。	・日本を紹介するための語彙や表現を聞いて理解することができる。		
3	○日本の紹介の仕方を理解し、日本について紹介したいことを考える。		・日本各地について既習表現を用いて紹介する表現を考えている。	
4 5	○日本について紹介する表現を考え、紹介用のカードを作成する。			
6	○日本のことを紹介する言い方に慣れ、オンラインでの発表の練習をする。		・日本について自分の考えや気持ちを入れながら、ALT や友達に伝わるようにわかりやすく紹介	・日本について自分の考えや気持ちを入れながら、ALT や友達に伝わるようにわかりやすく進ん
7	○ペアやグループ内で日本のこ			

本時	とを紹介する発表の練習をする。		している。	で紹介しようとしている。
8	○ALT や友だちに日本のことをオンラインで紹介する。		・日本について相手に伝わるようにわかりやすく紹介している。(話す[発表])	・ALT や友達に配慮しながら日本のことをわかりやすく進んで紹介しようとしている。

7 本単元で扱う語彙・表現

表現 Welcome to ～. We have ～in ….. It's ～. Please (try / visit) ～.

You can see / eat / enjoy ～. What food is famous in ～?

語彙 【食べ物】 food, Japanese sweets, sashimi, tempura, udon, natto, sushi など
【観光名所】 place, peace park, gassho style house, temple, shrine など
【行事】 event, hanami, bon festival, star festival, snow festival, fireworks など
【自然】 nature, mountain, snow, island, hot spring, garden, beach など

既出 It's famous for ～.

8 本時の指導

(1) 本時の目標

○食べ物や自然、行事、名所などについて、自分の考えや気持ちを入れながら、相手に伝わるように日本のことをわかりやすく紹介することができる。 【思考力・判断力・表現力等】

○自分の考えや気持ちを入れながら、ALT や友達に伝わるように日本のことをわかりやすく進んで紹介しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開 (7/8)

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶 (2)	1 挨拶をする。 【Let's Chant】 Welcome to Japan. ・デジタル教材に合わせてチャンツを言う。	・全体に挨拶と天気などの質問をする。 ・身振り手振りをういてヒントを出しながらチャンツを行い英語学習の雰囲気を作る。

復習 (6)	2 チャレンジ英会話をする。 ・海外から来た ALT をおいしい和食レストランに連れていきたい。どのお店にするか食べ物や味について話して、何を食べに行くか決めよう。 <例> S1: Let's talk about Japanese food. What food do you have? S2: We have sushi. S1: Oh, you have sushi. Is it delicious? S2: Yes. It's delicious. Let's eat sushi. ・中間評価 チャレンジ英会話での気づきや言い方がわからなかった表現などを確認する。 ・役割を変えて再度チャレンジ英会話をする。	・目的意識をもって活動できるようにするために、やりとりしている内容に意識を向けさせる。 ・既習表現を想起させる。 ・質問の仕方や反応の仕方に気づかせる。 ・想起した英語表現を意識して使わせる。
導入 (5)	4 ALT の発表を聞く。 <岡山県の紹介> (ALT : 観光大使役) T1: Hello. Where are you? ALT: I'm in Okayama. Welcome to Okayama. Let's enjoy the online tour. T1: OK. ALT: We have Okayama Kourakuen in Okayama. It's big and beautiful. T1: Wow, that's great. ALT: We have Okayama Barazushi. It's delicious. T1: Oh, it's delicious. I'm hungry. ALT: Please visit Okayama.	・本時の見通しをもたせる。 ・本時の目当てを黒板に示す。 ・既習表現を想起させる。
	<質問> T1: What can you see in Okayama Kourakuen? ALT: You can see beautiful flowers and trees. T1: What event is famous in Okayama? ALT: Momotaro Festival is famous. You can enjoy dancing. T1: That's exciting. ・学習のめあてをつかむ。	

外国の人をオンライン旅行に招待して、日本文化をわかりやすく紹介してみよう。

展開 (27)	5 ペアで紹介し合う。 <紹介例> (外国の人(S1)に観光大使(S2)が紹介する。) S1: Hello. Where are you? S2: I'm in Oita. Welcome to Oita. Let's enjoy the online tour. S1: OK. S2: We have hot spring in Oita. It's big. S1: Oh, you have hot spring. That's great. S2: We can see mountains. Very beautiful. S1: Oh, beautiful. S2: Please visit Oita. <質問例> S1: Let's talk about food in Oita. S2: OK. S1: What food is famous in Oita? S2: Toriten is famous. S1: Is it delicious? S2: Yes. It's very delicious. Please try it. S1: I want to eat it.	・発表時の注意点を提示し、相手意識をもたせる。事前に用意したタブレットの資料 (foods, nature, events, places) の画面を相手に見せながらわかりやすく話させる。 <話すときのポイント> ① Clear voice ② Eye contact <聞くときのポイント> ① Eye and Ear (画面の相手や資料をよく見て話をよく聴く。) ② Reaction (相槌を打ったり、質問したりする。) ◎日本について自分の考えや気持ちを入れながら、ALTや友達に伝わるようにわかりやすく紹介している。【思考・判断・表現】(行動観察) <形成的評価> ◎日本について自分の考えや気持ちを入れながら、ALTや友達に伝わるようにわかりやすく進んで紹介しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(振り返りカード・行動観察) <形成的評価>
	6 グループ内で発表する。 ・発表時の注意点を意識して発表したり聞いたりする。 ・発表の後、グループ内の他のメンバーが質問をする。 7 クラス全体の前で発表する。	・発表者に事前に用意したタブレットの資料の画面が相手によく見えるように提示させ、グループの友達にわかりやすく紹介させる。 ・発表者に対して ALT が質問する。 ・よい表現ができた児童に発表させることで次の発表について見通しをもたせる。

振り 返り (4)	8 振り返りカードに記入する。 <予想される内容> ・ペアで練習して、だんだんと自分の言いたいことが言えるようになった。 ・たくさん練習したので、以前より積極的に取り組めた。 ・相手がうなずいたり相槌を打ったりしながら聞いてくれたので、安心して話すことができた。	・児童の気付きや、発表に進んで取り組もうとした態度を称賛し、次回への意欲につなげる。
挨拶 (1)	7 挨拶をする。	



英語ふり返しカード



()年 ()組 ()番 氏名 ()

- B** Big 大きな声、クリアーボイス
E Eye 目を見て **Ear** よく聴いて
S Smile 笑顔で協力!
T Try 進んで取り組む

ふりかえり

- ① 気づいたこと、分かったこと。
 ② ^{むずか}難しかったこと。
 ③ 次回がんばりたいこと。
 ④ ^{もくひょうたっせい}目標達成のために、がんばったこと。
 ⑤ できるようになったこと。 など

日付
レッスン名

チェック
今日のめあてができたか

◎できた・○まあまあ・△もうひといき

Good



月日	今日のめあて	チェック	ふりかえり
／ レッスン			
／ レッスン			
／ レッスン			

<参考文献> 人間発達科学部紀要 第9巻第1号:243-254(2014) 図4 振り返りカード例

気軽にチャレンジ英会話



場面や状況、目的に応じて即興で会話をする。
既習表現を活用してなんとか伝える。

<例>

📺 20年後オンラインで同窓会を開くことにしました。今どこにいて、何をしているか、またその地域の特色などもお互いに聞きあってみましょう。(タブレットを使用 事前に作成してあったスライドを活用)

⇒ Where are you now? / What do you do? / What ~is famous?

📺 海外からきた ALT に和食のレストランを紹介します。
何が好きかや何を食べられるかを聞き出して、どのレストランに行くか決めましょう。
(タブレットで和食のメニューの写真を見せる。)

⇒ Let's go to a Japanese restaurant.

📺 海外からきた友達にホームパーティーで和食をごちそうすることにしました。
好みなどを聞き出して、相手が喜びそうなメニューを決めてください。
(タブレットで日本の家庭料理の写真を見せる。)

⇒ Let's enjoy the house party. Japanese food

📺 海外からホームステイに来た友達に、どこか旅行におすすめの場所がないか聞かれました。
いくつかの場所を示したり、相手の好みを聞いたりして、相手が気に入りそうな場所をアドバイスしてあげましょう。(タブレットでおすすめしたい観光地の写真などを見せる。)

⇒ Let's talk about ~? Do you like ~? place / event / food